

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	現在150人の会員をもつNPO法人であるがグループホーム運営にその資源が十分に活用されていない。外出支援、通院介助等でボランティア参加をすすめる課題に取り組めます。	① 利用者の外出、ドライブ、通院等で車の運転に参加してもらう。② 介助ボランティアの研修、学習会を実施します。	① 有償介助ボランティアを募り、登録してもらう。② 介助ボランティアの研修、学習会を年2回実施します。	6ヶ月
2	13	この1年、職員研修に法人として力を入れてきましたが、まだまだ「素人範囲」の域にとどまっています。排泄ケア、利用者との関係づくり、気づき等で運営基準に立ち返って繰り返し学習が必要になっています。	① 運営基準にもとづくケアの基本を繰り返し学習する。② 月一回の職員ミーティングを充実させ、必ず集団学習をとり入れる。③ グループホームのリスクマネジメントの学習。	① 排泄ケアマネジメントの学習。② リスクマネジメントを再度、代表者を講師に実施する。③ 他事業所との交換研修に職員を派遣します。	6ヶ月
3	50	現在利用者のお金の管理は家族が行っていますが希望があれば家族と買い物に行ってもらいますが、利用者によっては、お金の持つことの大切さを理解させて使えるように改善する。	①利用者の内3人は自分でお金を使える状況にあり、家族と相談してこづかい程度もたせ近所の商店で買い物ができるように改善する。② 「普通の日常生活」の視点で買い物に同行した時に支援をします。	① 地域の祭りや紅葉狩りで買い物ができるようにします。② 家族と一緒に買い物に出掛ける時などに本人の希望をつかみ、買い物が楽しくできるよう支援します。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。